

## 日立市庁舎安全対策計画(素案)について

(市長コメント)

昨年9月8日に発生した台風13号に伴う線状降水帯による豪雨災害を教訓として、現在策定を進めております「日立市庁舎安全対策計画」の素案がまとまりました。

本計画の内容は、河川工学や、建築物の浸水対策に関する各分野において、第一線でご活躍されている有識者などで構成する「日立市本庁舎浸水対策に関する在り方検討ワーキング」を本年2月に設置し、4回のワーキングにおいて、浸水状況や原因の分析、安全対策の妥当性等について検討を行った結果を踏まえたものであります。

特に、河川の溢水対策と建物の止水対策を組み合わせた検討は、全国でも非常に珍しい取り組みであり、安全対策の実施により、浸水リスクと地震リスクの両方に対応した自然災害に強い庁舎にできるものと受け止めております。

本計画(素案)につきましては、7月25日、26日の両日、議会に対して説明を行い、ご理解をいただいたところでございます。

今後は、市民等の皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントを8月5日から実施した上で、計画を策定してまいりたいと考えております。